

安心して子供を産み育てたい！ マタハラは人権侵害 謝罪を求めて裁判 支援 激励を

北九州地域ユニオンの西原 ゆかり組合員です。私は今、マタハラを受けた側として、株式会社ツクイと所長に対して損害賠償請求事件の裁判中です。子供をなかなか授かる事が出来ずに諦めていましたが、結婚して8年目の2014年7月31日に妊娠している事が

時に、『何があっても、働きまわすっていう覚悟はあるのか。特別扱いは特にするつもりはない。妊婦として扱うつもりもない。一生懸命やらなければ辞めてもらう。更新はない。』等と言われ、「子供を産んではいけないのか、妊娠は悪いことなのか。」などと考え込むようになった。

り、メンタル不調におちいり2014年1月にうつ状態との診断を受け、出産後の3月にメンタルの病院に行くことになりました。これまで、「マタニティーハラスメントやパワーハラスメントについて謝罪する事、所長の配置転換」などを求めて、数回の団体交渉を行って来ました。会社は、マタニティーハラスメントやパワーハラスメントの事実、所長交替についての要求を拒否したことで、裁判へと踏み切りました。

2014年2月に、無事第一子を産むことが出来ました。今は、育児休業中なのですが、正直まだ、社会に出て働く事が怖くて仕方ありません。裁判の方



支援の訴えをする西原ゆかりさんと美桜ちゃん

労働法コラム 第18回
～ブラックバイト問題とたたかおう～
 黒崎合同法律事務所
 溝口 史子 弁護士



きない等、学生生活に支障を来すものを指します。また、このような「ブラックバイト」においては、学生の無知につけ込み、サービスクラスやセクハラ・パワハラ、ノルマ未達成の場合の商品の買い取り等の違法行為が多く見られます。

この「ブラックバイト」問題の背景には、学生の経済的困窮や、フリーター等非正規労働者の増加があると言われています。

また、非正規労働者依存の社会構造の中で、低賃金・フルタイムで正社員同様の重責を担わされるフリーターが増えました。労働市場でフリーターと競合する学生が、低賃金・強拘束力・重責任の労働環境に追い込まれたのも必然と言えるでしょう。

アルバイトの長時間化、重責化のため、アルバイトと、学業や友人との交流、サークル活動等の両立に悩む学生が増えています。学生時代に十分に学び、能力を伸ばすことができない学生の増加は、将来的な労働力の質の低下につながりかねません。

「ブラックバイト」とは、学生が学生らしい生活を送れなくなってしまうアルバイトで、低賃金であるにもかかわらず、正規雇用労働者並みの義務やノルマを課されたり、シフトを一方的に決められたりすることで、授業や課外活動に参加で

東京地区私立大学教職員組合連合の2013年調査によると、仕送り額から家賃を差し引いた生活は1日平均わずか937円だったとのこと。学生は生活費を稼ぐためにアルバイトをせざるを得ず、「ブラックバイトだから。」と簡単

また、「ブラックバイト」を

放置すると、正規雇用労働者数が減少し、非正規雇用労働者の労働条件もますます悪化するという悪循環が生まれます。

このような「ブラックバイト」問題に対抗するため、2014年8月、ブラックバイトユニオンが結成されました。ブラック企業対策プロジェクトもHP上でリーフレット「ブラックバイトへの対処法」を無料公開し、「ブラックバイト」に対抗するためのノウハウを提供



しています。学生が「ブラックバイト」、卒業後はブラック企業に対抗できるよう、学生の頃から労働法に関する法教育を行うことも重要でしょう。

北九州地区労連ニュース

2015年 1月号 No. 99

発行 北九州地区労働組合総連合
連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号
メール k_oren@ybb.ne.jp 093-921-0747
ホームページ http://www.geocities.jp/k_oren/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめないで電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料 フリーダイヤル
0120-378-060
093-921-0747 k_oren@ybb.ne.jp

2015年新春旗びらきに136人が参加

北九州市長選挙勝利 春闘勝利をめざし団結

北九州春闘共闘と北九州地区労連共催の恒例「新春旗びらき」は1月9日金曜日の18時30分から小倉北区の小倉リーセントホテルで開催されました。総勢136名が集い、北九州市長選挙勝利、春闘勝利に向けて団結を深めました。

北九州市長選挙の年でもあった、真島・田村両衆議院議員の5年新春旗びらきは総選挙勝利、市長候補との政策協定を、も駆けつけてくれ、大いに盛り上げた旗びらきになったと、100名以上集まるこの場で上がった旗びらきになったと、思います。特に10年越しのたのしみです。最後の団結カンパロあり、旗びらきの冒頭に行い、たかいで今回見事に当選した、壇上に各組合の代表が上におに盛り上がりしました。昨年、田村貴昭議員の力強いあいさつが、いつもとは違う団結カンパロの総選挙で見事に当選を果たした、つには感動した方も多かった、バローになりました。



北九州市長選挙勝利、2015年春闘の大きな前進を！

北九州地区労連 議長 中山 和彦

2015年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。2015年は、北九州市長選挙や県知事選挙・一斉地方選挙など、今後を左右する政治闘争での奮闘が求められ、国民労働者が主人公となる社会と職場の実現をめざして、そして平和とくらしを守る1年にしていくことではありませんか。昨年は、消費税増税、集团的自衛権行使容認の閣議決定、原発再稼働など、国会での数の力を背景に、労働者・国民の意志に反して進められる安倍暴走政治と、私たち労働組合のたたかいとのせめぎ合いの一年でした。

年末には、アベノミクスの破たんや、格差拡大と原発依存社会との決別、集团的自衛権閣議決定をめぐる平和破壊を争点とする総選挙が行なわれ、戦後最低の投票率と小選挙区制の「弊害」に助けられた与党が現状維持する結果となりましたが、対立軸を示した共産党が躍進し、沖縄では米軍基地を絶対認めない県民世論が県知事選挙に引き続き総選挙でも勝利しました。

そして、この間の労働者・国民の共同が広がる取り組みのなかで、ディーセントワーク実現、格差・貧困のない新しい福祉国家実現への正念場のたたかいとして展開できるか、激しいせめぎ合いのたたかいにもなります。無権利状態に置かれていた労働者を組織化していきながら、北九州の全労働者が「たたかう労働組合」に結集して、諸要求実現に向けて大きな共同の輪を広げていく2015春闘にしていきたいと思います。

雨あがり

元日の初雪は何年ぶりでしょうか。新雪を踏み踏み新聞配達をしました。

早朝、ギユウ、ギユウと雪道を一步一步踏みしめながら、昨年末の総選挙の結果を思いながら、足取りが軽い。

一時間近く、時折強風が畑地を吹き荒れましたが、夜が明けるともう道路の雪は溶けていました。

樹木に積もった雪がドサツ、ドサツと落ちてくる様子が面白くいつまでも眺めたことを思い出します。

小学生の頃、まだ下駄で通学していました。

あの頃、冬は何度か雪が降り積もり歩いていると下駄の歯の間に雪が固まり何度か叩いて雪を落としながらまた歩き続けたことが思い出されます。

玄関わきに雪だるまを作ったこともありました。

今は車ですから雪が降るとスリップしないかとひやひやものです。

見渡す限り真っ白な雪景色は今も心がきれいになるのでしょうか。

政治の汚れを今年もふき取るために一歩一歩。(和)

北九州市長選勝利、春闘要求実現 写真でみる2015年新春旗びらき

1月9日に開催した2015年新春旗びらきは、北九州市長選挙勝利、春闘勝利をめざし136人の参加し、大いに盛り上がりました。その一部を写真で紹介します。



オープニングは、北九州のうたごえの仲間による合唱と夢限太鼓による勇壮な太鼓演奏で始まりました



田村衆議院議員も参加しました



各団体の代表者が壇上に上がり「頑張ろう！」3唱



高瀬県議候補も
駆けつけてきました



争議をたたかう仲間が、たたかいの報告と支援の訴え



旗びらきには、136人の仲間が参加しました



スクラムを組んでガンパロウの歌を歌いました。



乾杯の音頭は原田消団連事務局長
が行いました

安倍暴走政治ノーの思いを しのだ清 候補へ 残された5日間の奮闘が勝負を決める



北九州の未来を決める市長選挙がたたかわれています。北九州地区労連は「憲法をくらしに生かす市民の会」に結集して全力をあげてたたかっています。

立ち遅れを克服 支持依頼 カンパ活動で前進

北九州地区労連は第26回定期大会において、民主的な市政実現のため、2015年に実施される北九州市長選挙については積極的に取り組むことを確認してきました。今回の市長選挙では候補者の決定が遅れたこと、突如決定した総選挙によって、出足が遅れたことは確かです。しかし、11月18日に日本共産党福岡県委員会副委員長の「しのだ清」氏が立候補の決意表明を行い、20日には記者会見が行われ、23日には北九州市民大集会が500人を集め、ウエルとばた大ホールで開催されました。

8項目の政策協定を調印

この間地区労連は、加盟組合に向けて「ワンコインカンパ」「一人10人の声掛け」「推薦人登録」などの提起を行い、選挙カーのアナ、手ふり、弁士の派遣など、選挙戦の中核を担ってたたかいに参加しています。

北九州地区労連は新春旗びらきの席上で、しのだ市長候補と8項目の「政策協定」を



旗びらき会場で8項目の政策協定を調印



1・16労働者総決起集会

締結し、しのだ市長実現に向けて全力を注ぐことを確認しました。さらに1月14日には加盟組合代表者会議を開催し、カンパ、支持拡大の集約をさらに進めることを確認し、16日には、しのだ市政実現をめざす労働者総決起集会を開催しました。

この集会には県労連江口議長、県自治労連懸谷書記長が駆けつけていただきました。市民の会の三輪事務局長が、

市政の実現は、大型開発優先の市政から市民本位の新しい市政に変わることになると訴え、と大きな拍手が巻き起こりました。

行動提起は、道下事務局長が行い、「最後の最後まで奮闘の具体的な行動」について提案しました。市職労、学嘱労、福建労、健和会労組の4団体からの決意表明の後、福建労新屋敷書記長の閉会挨拶・団結カンパローで締めくくられました。

1月18日(日)10時、リバーウォーク横勝手山橋に300人を超える女性が集まり、教員、給食調理士、看護士など5人がそれぞれの課題の実現の

ために、北橋市政から、民主的な福祉重視のしのだ市政にと訴えました。集会終了後、「市長はしのだ!」とシュプレヒコールをしながら小倉駅までパレードを行い、メガホンを使って宣伝を行いました。



女性の会大宣伝行動に参加した「しのだ候補」



「しのだ」コールをしながら小倉駅までパレード



10日あびすで黄金市場を練り歩く芸者さん